

福岡義隆先生ご定年退職記念事業趣意書

拝啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

さて、立正大学地球環境科学部環境システム学科教授 福岡義隆 先生におかれましては、平成二十二年三月三十一日をもって立正大学を定年退職されることになりました。

先生は昭和三十八年三月に東京教育大学理学部地学科をご卒業され、昭和四十三年三月に東京教育大学大学院理学研究科博士課程を単位取得退学され、同年四月に千葉県公害研究所に研究技師として奉職されました。同年六月には、『Soil-Temperature Variation Influenced by Precipitation and its Mechanism』に対して、東京教育大学から理学博士の学位を授与されています。昭和四十五年四月に福島大学教育学部理科地学の気象学担当の助教授として着任され、特別教科（理科）課程、中学校課程および小学校課程の学生指導に当たられました。昭和五十二年十月に広島大学総合科学部環境科学コースの助教授として転出され、昭和六十二年十月には教授に昇任され、同年の自然環境研究コースへの改組に取り組みられるなど広島大学総合科学部の発展に大きく貢献されました。

その後、平成十年四月に立正大学地球環境科学部環境システム学科設立とともに環境気象学担当の教授として赴任され、さらに平成十二年四月の立正大学大学院環境科学研究科設立とともに同研究科担当教授も兼務され、地球環境科学研究所長や地球環境科学研究所環境システム学専攻長を歴任されるなど、立正大学地球環境科学部環境システム学科および立正大学大学院環境科学研究科の創設・発展に大きく貢献されました。広島大学からの転出に際しましては、広島大学から名誉教授の称号を授与されております。

先生の大学での教鞭は、福島大学、広島大学、立正大学通算で四十年間の長きにわたり、幅広い見識と指導力を持って教育・研究活動に取り組み、福島大学で十四名、広島大学で四十六名、立正大学で百二十九名、合計百八十九名に達する多くの高度な知識人や教育者・研究者を育成され、気象学界およびその関連学界の向上、発展に努められました。

この間、立正大学においては、先生はご専門とされる気候学・気象学に関連して、地球の資源とエネルギー、天気解析、環境モニタリングⅠ(大気・騒音)、気候変動論、都市環境、温暖化と酸性雨、気圏環境学特論、地球環境科学総合講義Ⅳ(地域環境変動特論B)、気圏環境学演習Ⅰ、気圏環境学演習Ⅱ、気圏環境学実習および実験、気圏環境学研究などの授業科目を担当されました。

研究面における活動は、ご専門とされる気候学・気象学に基礎をおいた、都市及び地球の温暖化に関する気候学的研究、酸性雨に関する環境気象学的研究、樹木年輪による気候環境変化に関する研究、医学気象予報に関する基礎的研究など広範囲な分野にわたり、気象学・気候学に関する著書・論文を数多く執筆されるとともに、主査として広島大学で二名、立正大学で三名の博士学位論文の指導を行ったのをはじめ、これらの分野における研究の発展ならびに後進の研究者の育成に尽力なさいました。

学外においては、日本気象学会、日本地理学会、日本生気象学会、日本農業気象学会、環境情報科学センター(学会)、天気検定協会等の学会ならびに協会活動のほか、福島市・広島県・広島市・熊谷市・川越市などの環境関係の委員会委員として、学会活動のみならず

地域社会活動にも幅広い見識をいかし、貢献なされました。先生のこれらの活動・貢献は各方面で高く評価され、平成九年六月には環境庁長官賞（地球環境保全功労賞・地球温暖化部門）、平成十七年九月には日本農業気象学会永年功労会員表彰、平成二十一年五月には環境情報科学センター(学会)賞特別賞（環境科学、気候学に関する長年の貢献）を受賞されました。

以上のような広範な活動を通じて多大な貢献をなされるとともに、多くの人材養成にも献身的に尽力してこられました。この度の先生のご定年退職にあたり、皆様方に広く呼びかけ、長年の先生のご功績とご貢献に対して、心より敬意と謝意を表したく、別紙の通り、記念事業を計画いたしました。

つきましては、なにとぞこの趣旨にご賛同賜り、ご協力くださいますようお願い申し上げます。準備の都合上、ご意向のほどを同封いたしました葉書にて、遅くとも平成二十二年一月末日までに、ご通知賜りますと幸甚に存じます。

敬具

平成二十一年十一月吉日

福岡義隆先生ご定年退職記念事業会発起人代表

立正大学地球環境科学部環境システム学科 教授 中川清隆

発起人氏名（順不同）

- 1 米林 伸(立正大学地球環境科学部長 同僚)
- 2 鈴木裕一(立正大学地球環境科学部環境システム学科主任 同僚)
- 3 鈴木厚志(立正大学地球環境科学部地理学科主任 同僚)
- 4 後藤真太郎(立正大学大学院地球環境科学研究科長 同僚)
- 5 渡辺泰徳(立正大学大学院地球環境科学研究科環境システム学専攻主任 同僚)
- 6 吉岡 茂(立正大学産学官連携推進センター長 同僚)
- 7 田村俊和(立正大学 同僚)
- 8 須田知樹(立正大学 同僚)
- 9 中村洋介(立正大学 同僚)
- 10 白木洋平(立正大学 同僚)
- 11 島津 弘(立正大学 同僚)
- 12 小松陽介(立正大学 同僚)
- 13 原美登里(立正大学 同僚)
- 14 渡来 靖(立正大学 同僚)
- 15 中川清隆(立正大学 同僚)
- 16 丸本美紀(立正大学 同僚・非常勤研究補助員)
- 17 高橋日出男(首都大学東京 広島大学時代の同僚)
- 18 榊原保志(信州大学 都市気候研究仲間)
- 19 宮下良治(いであ(株)バイオクリマ事業部長 バイオクリマ研究会仲間)
- 20 竹本 伸(宇宙船地球号の会代表 環境団体仲間)
- 21 蔵田英之(日本気象協会情報システム事業部モバイル・Web課長 熱中症研究仲間)

- 22 堀越信治(メテオリサーチ(株) 教え子第一号 福島大学1971年度学部卒)
- 23 佐藤一男(福島県中地方振興局県民環境部 福島大学1972年度学部卒)
- 24 中村留子(さいたま市立東浦和中学校 福島大学1972年度学部卒)
- 25 高橋道雄(元日本気象協会 福島大学1974年度学部卒)
- 26 小柳正弥(株水文研究所 福島大学1975年度学部卒)
- 27 小林繁雄(千葉県立千葉大宮高等学校 福島大学1976年度学部卒)
- 28 成田健一(日本工業大学 広島大学1978年度学部卒, 1980年度修士修了)
- 29 武市伸幸(学習塾 広島大学1979年度学部卒, 1981年度修士修了)
- 30 内田智久(広島市教育委員会 広島大学1980年度学部卒, 1982年度修士修了)
- 31 兼綱孝紀(新協栄管理(株) 広島大学1983年度学部卒, 1985年度修士修了)
- 32 小林正興(大阪府環境農林水産部 広島大学1985年度学部卒, 1987年度修士修了)
- 33 井上智博(千葉県環境研究センター 広島大学1986年度学部卒, 1988年度修士修了)
- 34 南 利幸(気象解説研究所 広島大学1987年度学部卒, 1989年度修士修了)
- 35 坂井紀之(日本気象協会 広島大学1988年度学部卒, 1990年度修士修了)
- 36 松藤(龍)絵里子(日本気象協会 広島大学1988年度学部卒, 1990年度修士修了)
- 37 岸 泰之(株ウエスコ 広島大学1991年度学部卒, 1993年度修士修了)
- 38 金川裕充(日本気象(株) 広島大学1994年度学部卒, 1996年度修士修了)
- 39 中里 元(栃木県立那須拓陽高等学校 広島大学1994年度学部卒, 1996年度修士修了)
- 40 阪井雅洋(いであ(株)大阪支社 広島大学1997年度修士修了)
- 41 金居 央(私立屋久島おおぞら高等学校 立正大学2001年度学部卒, 2003年度修士修了)
- 42 枝廣智子(IT関連会社勤務 立正大学2001年度学部卒, 2003年度修士修了)
- 43 上遠野輝義(株ファブリカコミュニケーションズ 立正大学2001年度学部卒)
- 44 篠田政浩(株日本エレクトリック・インスルメント 立正大学2002年度学部卒)
- 45 松本 太(産業技術総合研究所 立正大学2003年度博士修了)
- 46 辻 忠恭(HMVジャパン(株) 立正大学2003年度博士修了)
- 47 武内壮平(航空会社勤務 立正大学2003年度学部卒)
- 48 加藤祐平(ウチダユニコム(株) 立正大学2003年度学部卒)
- 49 横山太郎(立正大学2004年度学部卒, 2006年度修士修了)
- 50 石井伸幸(株ライフビジネスウェザー 立正大学2004年度学部卒)
- 51 竹内琢磨(新東電算(株) 立正大学2005年度学部卒, 2007年度修士修了)
- 52 山藤憲明(社団法人産業環境管理協会 立正大学2006年度博士修了)
- 53 藤田友香(株ライフビジネスウェザー 立正大学2006年度学部卒, 2008年度修士修了)
- 54 三浦平也(インテリア商社 立正大学2007年度学部卒)
- 55 成田恵理(立正大学大学院学生 立正大学2007年度学部卒, 2009年度修士修了見込)
- 56 深澤 拓(立正大学大学院学生 立正大学2008年度学部卒, 2010年度修士修了見込)
- 57 小崎明枝(立正大学学部学生 立正大学2009年度学部卒見込)
- 58 登坂直貴(立正大学学部学生 立正大学2010年度学部卒見込)

福岡義隆先生ご定年退職記念事業計画

各位殿

記

一. 最終講義

演題：都市大気環境に関する気候学的研究「自分史」

日時：平成22年1月12日（火）午前10時40分から午前12時10分まで

受付：午前10時30分から

場所：立正大学熊谷キャンパス アカデミックキューブ A101教室

最寄駅：上越新幹線「熊谷駅」南口→国際十王バス「立正大学」約15分

JR湘南-新宿ライン「熊谷駅」南口→国際十王バス「立正大学」約15分

JR高崎線「熊谷駅」南口→国際十王バス「立正大学」約15分

東武東上線「森林公園駅」北口→国際十王バス「立正大学」約15分

二. 記念講演会

演題：気候学に魅せられた48年～恩師との出会い

日時：平成22年3月27日（土）午後3時30分から午後5時30分まで

受付：午後3時から

場所：立正大学大崎キャンパス 石橋湛山記念講堂

最寄駅：東急池上線「大崎広小路駅」徒歩約2分

都営地下鉄・JR「五反田駅」西口徒歩約6分

JR「大崎駅」西口徒歩約6分

三. 記念祝賀会

日時：平成22年3月27日（土）午後6時30分から午後8時30分まで

受付：午後6時から

場所：ホテルゆうぼうと6階「重陽」の間

最寄駅：東急池上線「大崎広小路駅」徒歩約1分

都営地下鉄・JR「五反田駅」西口徒歩約5分

JR「大崎駅」西口徒歩約7分

記念祝賀会会費：8,000円

四. 記念品贈呈

記念出版物：『内陸都市はなぜ暑いのか』及び『植物気候学』

その他記念品：具体的内容は記念事業会事務局に御一任下さい。

記念品醸金：金額一口（8,000円）にて承ります。

五. 申し込み（祝賀会費，記念品醸金）

振込み類型：

- | | | |
|----------------------------|---|---------|
| A. フル参加（講演会・祝賀会に参加し出版物も受取） | ： | 15,000円 |
| B. 記念品贈呈のみの参加者 | ： | 8,000円 |

- C. 講演会・祝賀会のみ参加者（出版物は受け取らず） : 8,000円
D. ご同伴者（ご婦人の分、講演会・祝賀会参加、出版物不受取） : 5,000円

締切日：平成二十二年二月末日

振込先：ゆうちょ銀行口座

記号：10310

番号：86060121

名義：福岡義隆教授退職記念事業会

お願い：お振込の振込み名義人には、必ず個人の氏名とその末尾に振込み類型A～Dをご入力下さい。

恐れ入りますが、手数料は各自ご負担ください。ゆうちょ口座をお持ちの場合には、口座→口座の「電信振替」ATM扱いを利用すれば手数料無料となります。

なお、B. 記念品贈呈のみ参加の方には、記念出版物を、後日、送付致します。

六. その他

- ・別途、領収書をご入用の方はご連絡・ご相談下さい。
- ・本事業の実施については、実行委員会にご一任いただきますようお願い申し上げます。
- ・ご不明の点は下記宛までご連絡下さい。

お問い合わせ先

福岡義隆教授ご定年退職記念事業実行委員会

実行委員会代表幹事 渡来 靖

電話 048-539-1590

メール fuku2009@es.ris.ac.jp

〒360-0194 埼玉県熊谷市万吉 1700

立正大学地球環境科学部環境システム学科内

・福岡先生の懐かしいお姿を映した画像データをお持ちの方、添付ファイル送付等により実行委員会までご送付くださいますようお願い申し上げます。その際、その画像の由来を記した文書もご送付くださいますと幸甚に存じます。祝賀会会場で使用するとともに、記念品の一つとして福岡先生に謹呈いたしたいと存じます。

以上

【返信用葉書 表面】

〒360-0194

埼玉県熊谷市万吉1700

立正大学 地球環境科学部 環境システム学科 内

福岡義隆教授ご定年退職記念事業実行委員会

代表幹事 渡来 靖

行

【返信用葉書 裏面】

福岡義隆先生ご退職記念事業についてのご回答

- ・ 記念講演会 (・出席 ・欠席)
- ・ 記念祝賀会 (・出席 ・欠席)
- ・ 記念品贈呈 (・参加 ・不参加)
- ・ 送金合計金額 () 円)

平成 21 年 () 月 () 日

- ・ ご芳名 ()
- ・ 福岡先生との関係
教え子()大学()年度(・卒業 ・修了)
- その他 ()

-----以下は記念品の一部として福岡先生に贈呈します-----

- ・ 近況 ()
- ・ ご住所 ()
- ・ 電話番号 ()
- ・ メールアドレス ()
- ・ 福岡先生へのメッセージ